

No. 4546

**UNITED STATES OF AMERICA, CANADA, JAPAN
and UNION OF SOVIET SOCIALIST REPUBLICS**

**Interim Convention (with schedule) on conservation of
North Pacific fur seals. Signed at Washington, on
9 February 1957**

Official texts: English, Japanese and Russian.

Registered by the United States of America on 30 October 1958.

**ÉTATS-UNIS D'AMÉRIQUE, CANADA, JAPON
et UNION DES RÉPUBLIQUES SOCIALISTES
SOVIÉTIQUES**

**Convention intérimaire (avec annexe) sur la conservation
des phoques à fourrure du Pacifique nord. Signée à
Washington, le 9 février 1957**

Textes officiels anglais, japonais et russe.

Enregistrée par les États-Unis d'Amérique le 30 octobre 1958.

4 この条約は、六年間有効とし、その後は、新たな又は改正されたおつとせい条約が当事国間で効力を生ずる時又は前記の六年の期間後一年が経過する時のいずれか早い時まで引き続き効力を有するものとする。ただし、第十一条に定める第六年度の初期の会合において当事国が行う決定によりこの条約の効力をさらに一定期間だけ延長することができる。

5 この条約の原本は、アメリカ合衆国政府に寄託するものとし、同政府は、この条約の各署名政府にその認証謄本を送付するものとする。

終了するものとする。

第十三条

1. この条約は、批准されるものとし、その批准書は、できる限り
 ナミヤカにアメリカ合衆国政府に寄託されるものとする。

2. アメリカ合衆国政府は、寄託された批准書につき他の署名政府
 に通告を行うものとする。

3. この条約は、四番目の批准書の寄託の日に効力を生ずるものと
 する。こうして効力を生じたときは、第九条 1 及び 2 の規定は、
 千九百五十六年六月一日から効力を生じていたものとみなす。た
 だし、当事国が、その国内法に基き、自国の管轄権の下にあるす
 べての者及び船舶によるおつとせいの海上獵獲の禁止及びその実
 効的防止を署名の日から継続して行つていたことを条件とする。

きは、その後の年に会合することに同意する。前記のその後の年は、第六年度の初期の会合において当事国が定めるものとする。

第十二条

いずれかの当事国が、この条約の当事国が負うべき第二条3、4又は5に定める義務その他の義務が履行されていないと認め、かつ、その旨を他の当事国に通告したときは、すべての当事国は、その通告を受領してから三箇月の期間内に、是正措置の必要及び性格について協議するため会合するものとする。その協議により是正措置の必要及び性格について合意が得られなかつた場合には、いずれの当事国も、他の当事国に対しこの条約を終了させる意思を書面で通告することができ、これにより、この条約は、第十三条4の規定にかかわらず、その通告の日付の日から九箇月ですべての当事国につき

第十條

1 各当事国は、この条約の遵守を確保するために必要な法令を制定し、及び施行し、並びにこの条約の規定をその違反に対する適当な刑罰を設けることによつて実効的にすることに同意する。

2 当事国は、さらに、第三条に規定するおつとせいの海上猟獲の禁止を含むこの条約の目的を達成するために適当な措置を執ることに關し相互に協力することに同意する。

第十一條

当事国は、第五條 2 (b) の規定に従つて委員会が行う勧告を審議し、及び北太平洋のおつとせいの獸群の最大の持続的生産性を達成するために望ましい協定について決定するため、この条約の第六年度の初期及び、第十三條 4 の規定に基いてこの条約の効力が延長された。

二千頭以上の水準で行われる各年においては、

(1) カナダ及び日本国は、1に定めるソヴィエト社会主義共和

国連邦によるおつとせいの獣皮の引渡を受けないこと並びに

(2) アメリカ合衆国は、1に定めるカナダ及び日本国に対する

引渡をそれぞれ三百七十五頭分の獣皮だけ増加すること。

(b) 商業的猟殺がコマンダー群島又はロベン島のいずれか一方の

獣群のみについて行われ、かつ、西太平洋の区域内の海上調査

がおつとせい千頭以上の水準で行われる各年においては、

(1) カナダ及び日本国は、1に定めるソヴィエト社会主義共和

国連邦によるおつとせいの獣皮の引渡を受けないこと並びに

(2) アメリカ合衆国は、1に定めるカナダ及び日本国に対する

引渡をそれぞれ百八十八頭分の獣皮だけ増加すること。

- カナダへ
十五パーセント
- 日本国へ
十五パーセント
- アメリカ合衆国から
十五パーセント
- カナダへ
十五パーセント
- 日本国へ
十五パーセント
- 2 各当事国は、受領当事国の権限を与えられた機関に対し、前記のおつとせいの獣皮を捕獲の場所又は両当事国間で相互に合意する他の場所において引き渡すことに同意する。
- 3 西太平洋における海上調査の直接及び間接の費用を一層衡平に分担するため、次のことが合意される。
- (a) 商業的猟殺がコマンダー群島及びロベン島の双方の獣群について行われ、かつ、西太平洋の区域内の海上調査がおつとせいで

国連邦又はアメリカ合衆国が捕獲したものの、附表に従つて調査目的のため海上で捕獲したもの、第七条の規定に基いて捕獲したものの、第六条5の規定に基いて没収されたもの及び意図せずに捕獲して当事国の所有に帰したものを除く。ただし、それらの除外されたすべての獣皮は、関係当事国の当局が正式に印を附して正当に証明しなければならぬ。一の自国の領域への輸入及び搬入並びに同領域内における取引を禁止することに同意する。

第九条

1 各当事国は、各猟期に陸上で商業的に捕獲されるおつとせいの獣皮の総数のうち、数及び価額の双方から見て次の百分率に相当する獣皮が各猟期の終りに引き渡されることに同意する。

ソヴェエト社会主義共和国連邦から

獲されたかつかつせよの獣皮(繁殖区域でソヴエト、ユーゴスラフ、社会主義共産共和
 2 各当国は、第五三條の北太平洋の区域にかつせよの捕

をも使用せよとて同意する。

禁止を犯す目的のため、自国の海境又はその領域のよつれ部の部
 1 各当国は、よつかかる者又は船舶に於て、第三條に定むる

第八條

とを条件とする。

れてよつせよと及び他の者に獸皮を引き渡す契約を結んでよつせよ
 用されよつせよとする。ただし、これら狩猟者が他の者に用さ
 火器を用よつせよとせよの海上繁殖に従事するものに對しては適
 を具とするもの(に乘つて、従来行つた方法によつて、かつ、
 一、よつかい又は航上つてのオカ推進し、かつ、それれ五人以下

それらがいずれかの当事国の管理下にある限り、当該事件の裁判につき管轄権を有する当事国の当局に対し、妥当な限りすみやかに提供されなければならない。

5 拿捕^だされた船舶内で発見されたおつとせいの獣皮は、当該事件の裁判につき管轄権を有する当事国の裁判所その他の当局の決定により没収されるものとする。

6 禁止に違反した者に課した刑罰措置に関する完全な詳細は、刑罰を課した後三箇月以内に他の当事国に通報しなければならない。

第七条

この条約の規定は、第三条にいう水域の沿岸に居住するインディアン、アイヌ、アリュート又はエスキモーであつて、カヌー（他の船舶によつて運搬され、又はこれと連係して使用されることがなく、

限りすみやかにその拿捕又は逮捕を通告し、かつ、その船舶又はその者を、それらについて管轄権を有する当事国の権限を与えられた公務員に対し、両当事国が合意する場所においてできる限りすみやかに引き渡すものとする。もつとも、通告を受けた当事国がその船舶又はその者の引渡を直ちに受けることができないう場合において、その当事国が要請したときは、その通告を行つた当事国は、その船舶又はその者を両当事国が合意する条件により自国の領域内で監視の下におくことができる。

3 前記の者又は船舶が属する当事国の当局のみが、第三条及びこの条の規定に基いて生ずる事件を裁判し、並びにそれに関連して刑罰を課する管轄権を有する。

4 違反を立証するために必要な証人又はその証言及び他の証拠は、

止に違反していると信ずるに足りる相当の理由を有するときは、その公務員は、他国の領水内における場合を除くほか、その船舶に臨み、及びこれを搜索することができる。その公務員は、自国政府の権限のある当局が発給する英語、日本語及びロシア語で作成された特別証明書を携行しなければならず、かつ、その船舶の船長の要請があつたときは、その証明書を提示しなければならぬ。

2 前記の公務員は、船舶又はその船舶にあるいずれかの者が禁止に違反していることをその船舶の搜索後もお信ずるに足りる相当の理由を有するときは、その船舶を拿捕し、又はその者を逮捕することができる。その場合には、その公務員が属する当事国は、その船舶又はその者について管轄権を有する当事国に対してできる

する。各当事国は、また、第六条5の規定に基き没収したおつとせいの獣皮の価額に相当する金額を毎年委員会に提出しなければならない。

8 委員会は、その活動に関する年次報告を当事国に提出しなければならない。

9 委員会は、おつとせい資源又は委員会の運営に関するいかなる問題についても当事国に随時勧告することができる。

第六条

当事国は、第三条の規定を実施するため、次のことに同意する。

1 いずれかの当事国の正当に権限を与えられた公務員が、水産生物資源を採捕するための装備をした船舶でいずれかの当事国の管轄権の下にあるものが第三条に定めるおつとせいの海上猟獲の禁

の數に関する勸告並びにその性別及び年齢別組成に関する勸告については、第九条1の規定に基き当該獸群から得られる獸皮の配分に參加する當事國のみが投票する。

5 委員会は、その委員のうちから一人の議長及び他の必要な役員を選出するものとし、また、その事業を運営するための手続規則を採択するものとする。

6 委員会は、みずから決定する時及び場所において年次会合を行う。追加的の会合は、委員会の二以上の委員が要請したときに行う。第一回の会合の時及び場所は、當事國間の合意により決定する。

7 委員会の各委員の経費は、各自の政府によつて支払われる。委員会の共同の経費は、當事國が平等の分担金により支払うものと

4 の規定に基きこの条約の効力が延長されたときは、その後の年に、この条約の目標に到達するため最も適しているおつとせいの猟獲の方法を当事国に勧告すること。前記のその後の年は、第十一条に定める第六年度の初期の会合において当事国が定めるものとする。

3 委員会は、この条約が実施されて第一年度が経過した後は、附表に定める調査計画を委員会の科学的結論に従つて修正することができ、その修正を行つたときは、附表は、そのように改正されたものと認められる。委員会は、そのような各改正及びその効力発生の日を各当事国に通告するものとする。

4 各当事国は、一個の投票権を有する。決定及び勧告は、全会一致の投票により行われる。獸群についての獵期ごとの商業的獵殺

2 委員会の任務は、次のとおりとする。

- (a) 第二条に定める目標に到達するように立案された調査計画を作成し、かつ、調整すること。
- (b) 各当事国に対し、それらの調整された調査計画を実施するよう勧告すること。
- (c) 前記の調整された調査計画の実施の結果得られた資料を研究すること。
- (d) 前記の調整された調査計画の実施の結果得られた結論を基礎として、当事国に対して適当な措置（獣群についての猟期ごとの商業的猟殺の数に関する措置並びにその性別及び年齢別組成に関する措置を含む。）を勧告すること。
- (e) この条約の効力発生後の第五年度の終期に、及び、第十三条

ときは、その旨を他の当事国に通報するものとする。この場合には、委員会は、その猟殺停止の期間中西太平洋における科学的目的のためのおつとせいの海上猟獲の水準を引き下げるかどうか、又はその海上猟獲を完全に停止するかどうかを決定する。

4 この条約が実施されて第二年度が経過した後は、委員会は、受領した科学的資料に基く結論に従つて、2に定める基準数を修正することができ、この修正が行われたときは、2の規定は、そのように改正されたものと認められる。委員会は、そのような各改正及びその効力発生の日を各当事国に通告するものとする。

第五條

1 当事国は、各当事国について一人の委員からなる北太平洋おつとせい委員会を設置することに同意する。

の海上猟獲を行うことを禁止することに同意する。

第四条

1 各当事国は、自国の調査の費用を負担する。調査中に捕獲するおつとせいの獣皮に対する権原は、その調査を行う当事国に帰属する。

2 公式記録における資料によりコマンダー群島繁殖場のおつとせいの総頭数が減少して五万頭を下るときは、ソヴィエト社会主義共和国連邦は、おつとせいの頭数が五万頭をこえるまでの間、おつとせいの商業的猟殺及び獣皮の割当を停止することができる。この規定は、また、ロベン島のおつとせい獣群についても、その獣群の総頭数が五万頭を下るときは、適用される。

3 ソヴィエト社会主義共和国連邦政府は、前記の猟殺を停止する

する。その交換は、そのつど、直接に関係のある当事国間の相互の合意によつて行われるものとする。

6 当事国は、この条に定める科学的海上調査のため、政府が所有し、又はよう船している船舶で、それぞれの当局の厳格な管理の下に運航するもののみを使用することに同意する。各当事国は、海上調査に使用されるべき船舶の名称及び要目を他の当事国に通報しなければならぬ。

第三条

各当事国は、調整された協力的な調査の実施を含むこの条約の目的の達成のため、第二条³及び附表に定める場合を除くほか、自国の管轄権の下にあるすべての者及び船舶がベーリング海、オホーツク海及び日本海を含む北緯三十度以北の太平洋においておつとせい

効力発生後の各年において、この条約に附属しかつ第五条3の規定に従つて修正される附表に定める計画を実施することに同意する。前記の附表は、その修正とともに、この条約の不可分の一部と認められる。

4 各当事国は、委員会に対し、毎年、

(a) 繁殖区域ごとに標識を附したおつとせい黒色乳幼獣の頭数

(b) 海上及び各繁殖区域で捕獲した性別及び推定年齢別によるおつとせいの頭数並びに

(c) 陸上及び海上で回収された標識獣

に関する情報並びに、できる限り、科学的調査のために適当な他の情報で委員会が要請するものを提供することに同意する。

5 当事国は、また、科学者の交換のための措置を執ることに同意

年齢の自然死亡率並びに年齢別又は体長別の各級への年少獣の補充量

(c) 各獣群に関し、各年の猟殺数の変化並びにその年齢別及び性別組成の変化が補充量の大きさに与える影響

(d) おつとせいの回遊経路及び越冬区域

(e) 回遊経路及び越冬区域において発見された獣群別のおつとせいの頭数並びにその年齢及び性

(f) おつとせいの食習性が魚類の商業的漁獲に及ぼす影響の程度及びおつとせいが漁具に与える損害

(g) この条約の目標への到達に関連する他の事項で第五条1の規定に基いて設置される委員会が決定するもの

3 この条に掲げる調査を促進するため、各当事国は、この条約の

- 1 この条約の目標に到達するため、当事国は、次のことの決定を目的として、必要な科学的調査計画を調整し、かつ、北太平洋のおつとせい資源の調査に協力することに同意する。
 - (a) おつとせいの総頭数を毎年最大限度の猟獲が得られるような水準に到達させ、かつ、維持することができると、おつとせい資源の最大の持続的生産性を可能にするため必要な措置
 - (b) おつとせいと他の水産生物資源との間の関係並びにいずれかの当事国が実質的に漁獲している他の水産生物資源に対しておつとせいが及ぼす有害な影響の有無及びその程度
- 2 前項にいう調査は、次の事項に関する研究を含むものとする。
 - (a) 各おつとせい獣群の大きさ並びにその年齢別及び性別組成
 - (b) おつとせいの総頭数の現在及び将来の水準における異なる年

次のとおり協定する。

第一条

1 この条約の適用上、「おつとせいの海上猟獲」とは、方法のいかんを問わず、海上でおつとせいを猟殺し、捕獲し、又は狩猟することをいう。

2 以下に使用される「各年」、「年次」及び「毎年」にいう年とは、条約年度、すなわち、この条約の効力発生の日に始まる年度をいう。

3 この条約のいかなる規定も、領水の限界又は漁業管轄権に関する当事国の立場になんらの影響も与えるものとみなしてはならぬ。

第二条

No. 4546. JAPANESE TEXT — TEXTE JAPONAIS

北太平洋のおつとせいの保存に関する暫定条約

カナダ、日本国、ソヴィエト社会主義共和国連邦及びアメリカ合衆国の政府は、

北太平洋の他の水産生物資源の生産性との關係に妥當な考慮を払つた上で、その区域のおつとせいの総頭数を毎年最大限度の獵獲が得られるような水準に到達させ、かつ、維持することができると、そのおつとせいの資源の最大の持続的生産性を達成するため有効な措置を執ることを希望し、

この措置を決定するためおつとせいの資源に關し十分な科学的調査を行うことが必要であると認め、また、

これらの目標に到達するため國際的協力を取りきめることを希望して、

№ 4546. ВРЕМЕННАЯ КОНВЕНЦИЯ О СОХРАНЕНИИ КОТИКОВ СЕВЕРНОЙ ЧАСТИ ТИХОГО ОКЕАНА

Правительства Канады, Японии, Союза Советских Социалистических Республик и Соединенных Штатов Америки,

Желая принять эффективные мероприятия в целях достижения максимальной допустимой продуктивности котиковых ресурсов северной части Тихого океана таким образом, чтобы котиковые стада могли быть доведены и могли быть поддерживаемы на уровнях, которые обеспечат наибольшую добычу из года в год, с должным учетом их связи с продуктивностью других живых морских ресурсов этого района,

Признавая, что для определения таких мероприятий необходимо вести достаточные научные исследования по упомянутым ресурсам, и

Желая обеспечить международное сотрудничество при достижении этих целей,

Согласились о следующем:

Статья I

1. Для целей данной Конвенции термин «морская охота на котиков» настоящим определяется как означающий убой, лов или преследование в той или иной форме котииков в море.

2. Слова «каждый год», «ежегодный» и «ежегодно», как они употребляются в последующем тексте, относятся к году Конвенции, т.е. к году, начиная от даты вступления Конвенции в силу.

3. Никакие положения настоящей Конвенции не должны рассматриваться как оказывающие какое-либо влияние на позиции Сторон в вопросах о ширине территориальных вод и их юрисдикции в области рыболовства.

Статья II

1. Для достижения целей настоящей Конвенции Стороны соглашаются координировать необходимые научно-исследовательские программы и сотрудничать в исследованиях котиковых ресурсов северной части Тихого океана для того, чтобы определить:

- (а) какие меры могут оказаться необходимыми для того, чтобы сделать возможной максимально допустимую продуктивность котиковых ресурсов таким образом, чтобы котиковые стада могли быть доведены и могли быть поддерживаемы на уровнях, которые обеспечат наибольшую добычу из года в год; и

(b) какая существует связь между котиками и другими живыми морскими ресурсами, и оказывают ли котики вредное влияние на другие живые морские ресурсы, в значительной степени используемые любой из сторон, и если это так, то в какой степени.

2. Упомянутые в предыдущем пункте исследования включают изучение следующих вопросов:

- (a) размер каждого котикового стада и его возрастно-половой состав;
- (b) естественная смертность в различных возрастных группах и пополнение молодняком каждого возрастного или размерного класса на настоящих и последующих уровнях численности;
- (c) влияние изменений в размере и возрастно-половом составе ежегодного уоя на величину пополнения каждого из стад;
- (d) пути миграции котиков и районы их зимовки;
- (e) количество котиков каждого стада, встречаемых на путях миграции и в районах зимовки, и их возраст и пол;
- (f) размер влияния навыков питания котиков на промысловые уловы рыбы и ущерб, который котики наносят рыболовным снастям; и
- (g) прочие вопросы, которые определит Комиссия, учрежденная согласно пункту 1 Статьи V, связанные с достижением целей Конвенции.

3. Для содействия исследованиям, упомянутым в настоящей Статье, каждая из Сторон соглашается проводить каждый год после вступления в силу Конвенции программы, указанные в приложенной к Конвенции таблице, с любыми изменениями, сделанными в ней в соответствии с пунктом 3 Статьи V. Указанная таблица вместе с любыми такими изменениями считается неотъемлемой частью настоящей Конвенции.

4. Каждая Сторона соглашается представлять Комиссии ежегодно сведения:

- (a) о числе черных детенышей, помеченных в каждом районе размножения;
- (b) о числе котиков, с указанием пола и исчисленного возраста, добытых в море и на каждой площади размножения; и
- (c) о меченых котиках, найденных на суше и в море;

и, поскольку это практически возможно, другие сведения, относящиеся к научным исследованиям, которые Комиссия могла бы затребовать.

5. Стороны далее соглашаются обеспечивать обмен научными работниками; каждый такой обмен производится при взаимном согласии непосредственно заинтересованных Сторон.

6. Стороны соглашаются использовать для научных морских исследований, предусмотренных в настоящей Статье, только правительственные и зафрахтованные правительством суда, действующие под строгим контролем их

соответствующих властей. Каждая Сторона сообщает другим Сторонам названия и описания судов, которые будут использованы для морских исследований.

Статья III

Для того, чтобы осуществлять цели Конвенции, включая проведение координированных и кооперированных исследований, каждая Сторона соглашается запретить всем лицам и судам, находящимся под ее юрисдикцией, морскую охоту на котиков, кроме предусмотренной в пункте 3 Статьи II и в таблице, в Тихом океане к северу от тридцатой параллели северной широты, включая моря Берингово, Охотское и Японское.

Статья IV

1. Каждая Сторона будет нести расходы по производимым ею исследованиям. Право собственности на шкурки котиков, добытых во время проведения исследований, принадлежит той Стороне, которая проводила исследования.

2. Если численность котиков на лежбищах Командорских островов уменьшится и станет менее 50.000 голов, согласно данным в официальных отчетах, то промысловый убой котиков и отчисление шкурок могут быть приостановлены Союзом Советских Социалистических Республик впредь до того, как численность котиков превысит 50.000 голов. Это положение относится также и к котиковому стаду Тюленьего острова, если численность этого стада станет менее 50.000 голов.

3. Правительство Союза Советских Социалистических Республик, приостанавливая указанный убой котиков, уведомляет об этом все другие Стороны. В этом случае Комиссия определяет, сокращать или не сокращать уровень морской добычи котиков или полностью приостановить такую добычу котиков в западной части Тихого океана для научных целей в течение упомянутого приостановления.

4. Комиссия может по истечении второго года действия Конвенции изменить исходную цифру, установленную в пункте 2 этой Статьи в соответствии с ее заключениями, основанными на полученных ею научных данных; и если любые такие изменения сделаны, то пункт 2 этой Статьи считается соответственно измененным. Комиссия уведомляет каждую Сторону о каждой такой поправке и о дате вступления ее в силу.

Статья V

1. Стороны соглашаются учредить Комиссию по котикам северной части Тихого океана, в которую войдут по одному члену от каждой Стороны.

2. В обязанности Комиссии входит:

- (a) составлять и координировать программы по исследованиям, предназначенные для достижения целей, изложенных в пункте 1 Статьи II;
- (b) рекомендовать эти координированные программы по исследованиям соответствующим Сторонам для выполнения;
- (c) изучать данные, полученные в результате осуществления таких координированных программ по исследованиям;
- (d) рекомендовать соответствующие мероприятия Сторонам на основе данных, полученных при осуществлении таких координированных программ по исследованиям, включая мероприятия, касающиеся размера и возрастно-полового состава сезонного промыслового убоя из стада; и
- (e) рекомендовать Сторонам, в конце пятого года после вступления в силу настоящей Конвенции и, если Конвенция продлевается согласно положениям пункта 4 Статьи XIII, то в более поздний год, — методы добычи котиков, наиболее подходящие для достижения целей настоящей Конвенции. Вышеупомянутый более поздний год будет установлен Сторонами на Сессии в начале шестого года, предусмотренном в Статье XI.

3. По истечении первого года действия этой Конвенции Комиссия может изменить, в соответствии с полученными ею научными данными, программы по исследованиям, указанные в Таблице, и если такие изменения будут сделаны, Таблица будет считаться соответственно измененной. Комиссия уведомляет каждую Сторону о каждой такой поправке и о дате вступления ее в силу.

4. Каждая Сторона имеет один голос. Решения и рекомендации считаются принятыми, когда за них проголосовано единогласно. В отношении любой рекомендации относительно размера и возрастно-полового состава сезонного промыслового убоя из стада будут голосовать только те Стороны, которые, согласно положению пункта 1 Статьи IX, имеют долю в шкурках котиков из этого стада.

5. Комиссия избирает из числа своих членов Председателя и других необходимых должностных лиц и устанавливает правила процедуры для проведения своей работы.

6. Комиссия проводит ежегодные заседания в такое время и в таком месте, как она может решить. Внеочередные заседания проводятся по просьбе двух или более членов Комиссии. Время и место первого заседания будет определено соглашением между Сторонами.

7. Расходы каждого члена Комиссии оплачиваются его собственным пристрастием. Те совместные расходы, которые могут быть сделаны Комиссией, оплачиваются Сторонами посредством равных взносов. Каждая Сторона также ежегодно передает Комиссии сумму, равную стоимости котиковых шкурок, конфискованных ею в соответствии с положениями пункта 5 Статьи VI.

8. Комиссия представляет Сторонам ежегодный доклад о своей деятельности.

9. Комиссия может время от времени делать Сторонам рекомендации по любому вопросу, который касается китиковых ресурсов или управления Комиссией.

Статья VI

Для осуществления положений Статьи III Стороны соглашаются о следующем:

1. Когда должным образом уполномоченное должностное лицо любой из Сторон имеет достаточное основание полагать, что какое-либо судно, оборудованное для добычи живых морских ресурсов и находящееся под юрисдикцией любой из Сторон, нарушает запрещение морской охоты на китиков, предусмотренное Статьей III, это лицо может подняться на такое судно, если оно не находится в территориальных водах другого государства, и подвергнуть его обыску. Такое должностное лицо должно иметь специальное удостоверение, выданное компетентными властями его правительства и составленное на английском, японском и русском языках, которое должно быть предъявлено капитану судна по его просьбе.

2. Если должностное лицо после обыска судна попрежнему имеет достаточное основание полагать, что судно или любое лицо на нем нарушает запрещение, то такое должностное лицо может захватить или арестовать такое судно или лицо. В таком случае Сторона, которой принадлежит должностное лицо, уведомляет, как можно скорее, о таком аресте или захвате Сторону, имеющую юрисдикцию над судном или лицом, и передает судно или лицо так скоро, как это осуществимо, уполномоченным должностным лицам Стороны, имеющей юрисдикцию над судном или лицом, в месте, устанавливаемом по соглашению обеих Сторон; однако, если Сторона, получившая уведомление, не может немедленно принять судно или лицо, Сторона, которая посылает такое извещение, может, по просьбе другой Стороны, задерживать судно или лицо под надзором в пределах своей собственной территории на условиях, о которых договариваются обе Стороны.

3. Лишь власти Стороны, которой принадлежит такое лицо или судно, имеют право рассматривать любое дело, возникающее на основании Статьи III и настоящей Статьи, и применять наказания в связи с таковым.

4. Свидетели или их показания и другие доказательства, необходимые для установления нарушения, поскольку они находятся в распоряжении какой-либо из Сторон, должны быть доставлены со всей возможной быстротой властям Стороны, имеющей право рассматривать дело.

5. Обнаруженные на задержанных судах китиковые шкурки подлежат конфискации по решению суда или других властей Стороны, под юрисдикцией которой происходит рассмотрение дела.

6. Подробное сообщение о мерах наказания, примененных к нарушителям запрещения, передается другим Сторонам не позже, чем в течение трех месяцев после применения наказания.

Статья VII

Положения настоящей Конвенции не применяются к индейцам, айнам, алеутам и эскимосам, проживающим на побережье, омываемом водами, указанными в Статье III, и занимающимся морской охотой на котиков в челноках, которые не перевозятся другими судами и не используются в связи с ними, и приводятся в движение исключительно веслами, гребками или парусами, с экипажем, не превышающим пять человек в каждой лодке, как это до сих пор практиковалось, и без употребления огнестрельного оружия, при условии, что эти охотники не находятся на службе у других лиц и не заключили контракта на поставку шкур какому-либо лицу.

Статья VIII

1. Каждая Страна соглашается не разрешать лицам или судам пользоваться любыми из ее портов или гаваней или любой частью ее территории для любой цели, предусматривающей нарушение запрещения, установленного в Статье III.

2. Каждая Страна также соглашается запретить ввоз и доставку на ее территорию и торговлю в пределах ее территории шкурками котиков, добытых в районе северной части Тихого океана, упомянутом в Статье III, за исключением лишь тех, которые добыты Союзом Советских Социалистических Республик или Соединенными Штатами Америки на лежбищах; тех, которые добыты в море для исследовательских целей в соответствии с Таблицей; тех, которые добыты в соответствии с положениями Статьи VII; тех, которые конфискованы на основании пункта 5 Статьи VI; и тех, которые непреднамеренно добыты и взяты во владение одной из Сторон, при условии, однако, что все шкурки, подпадающие под указанное исключение, должны быть официально помечены и должным образом засвидетельствованы властями заинтересованной Страны.

Статья IX

1. Соответствующие Стороны соглашаются из общего числа котиковых шкурок, добываемых на суше в каждом сезоне с промысловой целью, передавать в конце сезона определенный процент общего количества и стоимости шкурок согласно нижеследующей таблице:

Союз Советских Социалистических Республик	}	Канаде	15 процентов
		Японии	15 процентов
Соединенные Штаты Америки	}	Канаде	15 процентов
		Японии	15 процентов

2. Каждая Сторона соглашается передавать такие котиковые шкурки уполномоченному агенту принимающей Стороны на месте добычи или в каком-либо другом месте, взаимно согласованном такими Сторонами.

3. С тем, чтобы более справедливо разделить прямые и косвенные расходы по исследованиям в море в западной части Тихого океана, предусматривается:

(а) что в любой год, в течение которого промысловый убой проводится как в стаде Командорских островов, так и в стаде Тюленьего острова, и исследования в море в этом районе проводятся на уровне 2.000 или более котиков:

- (1) Канада и Япония откажутся от отчислений шкурок котиков от Союза Советских Социалистических Республик, предусмотренных пунктом 1 настоящей Статьи; и
- (2) Соединенные Штаты Америки увеличат свои отчисления Канаде и Японии, предусмотренные пунктом 1 настоящей Статьи, на 375 шкурок котиков для каждой из этих Сторон.

(б) что в любой год, в течение которого промысловый убой проводится только из стада на Командорских островах или только из стада на Тюленьем острове, и исследования в море в этом районе проводятся на уровне 1.000 или более котиков:

- (1) Канада и Япония откажутся от отчислений шкурок котиков от Союза Советских Социалистических Республик, предусмотренных пунктом 1 настоящей Статьи; и
- (2) Соединенные Штаты Америки увеличат свои отчисления Канаде и Японии, предусмотренные пунктом 1 настоящей Статьи, на 188 шкурок котиков для каждой из этих Сторон.

Статья X

1. Каждая Сторона обязуется издать и проводить в жизнь такие законодательные меры, с соответствующими наказаниями за нарушение таковых, которые могут быть необходимы для обеспечения соблюдения настоящей Конвенции и для того, чтобы сделать эффективными ее положения.

2. Стороны далее соглашаются сотрудничать друг с другом в принятии таких мер, которые могут быть подходящими для достижения целей настоящей Конвенции, включая запрещение морской охоты на котиков, как предусмотрено Статьей III.

Статья XI

Стороны соглашаются собраться в начале шестого года действия настоящей Конвенции, и, если Конвенция продлевается согласно положениям пункта 4 Статьи XIII, то вновь собраться в более поздний год, для рассмотрения рекомендаций Комиссии, представленных в соответствии с пунктом 2 (е)

Статьи V, и для определения, какие дальнейшие соглашения могут быть желательны для достижения максимально допустимой продуктивности котиковых стад северной части Тихого океана. Вышеупомянутый более поздний год будет установлен Сторонами на Совещании в начале шестого года.

Статья XII

Если какая-либо Сторона сочтет, что обязательства, изложенные в пунктах 3, 4 или 5 Статьи II, или любое другое обязательство, которое взяли на себя Стороны, не выполняются, и, если она уведомит об этом остальные Стороны, все Стороны в течение трех месяцев с момента получения такого уведомления соберутся для совместной консультации относительно необходимости и характера мероприятий для исправления положения. В случае если такая консультация не приведет к соглашению относительно необходимости и характера мероприятий для исправления положения, любая из Сторон может уведомить в письменной форме другие Стороны о намерении прекратить действие Конвенции и, несмотря на положения пункта 4 Статьи XIII, Конвенция затем прекратит свое действие для всех Сторон по истечении девяти месяцев со дня такого уведомления.

Статья XIII

1. Настоящая Конвенция подлежит ратификации, и ратификационные грамоты будут сданы на хранение Правительству Соединенных Штатов Америки так скоро, как практически возможно.

2. Правительство Соединенных Штатов Америки уведомит другие подписавшие Правительства о переданных на хранение ратификационных грамотах.

3. Настоящая Конвенция вступает в силу в день сдачи на хранение четвертой ратификационной грамоты, и по вступлении ее в силу пункты 1 и 2 Статьи IX будут считаться действующими с 1-го июня 1956 года, при условии, что Стороны с момента подписания Конвенции поддерживают согласно своим внутренним законам запрещение и эффективное предотвращение морской охоты на котиков лицами и судами, находящимися под юрисдикцией соответствующих Сторон.

4. Настоящая Конвенция останется в силе в течение шести лет и далее до вступления в силу новой или пересмотренной Конвенции о котиках между Сторонами, или до истечения одного года после такого периода в шесть лет, в зависимости от того, что произойдет ранее, при условии, однако, что она может остаться в силе в течение дальнейшего периода, если Стороны вынесут такое решение на Совещании в начале шестого года, которое предусмотрено в Статье XI.

5. Подлинный текст настоящей Конвенции будет сдан на хранение Правительству Соединенных Штатов Америки, которое разошлет заверенные копии такового каждому из подписавших Конвенцию государств.

IN WITNESS WHEREOF the undersigned, being duly authorized by their respective Governments, have signed this Convention.

DONE in Washington this ninth day of February 1957, in the English, Japanese, and Russian languages, each text equally authentic.

以上の証拠として、各目の政府から正当に委任を受け
た下名は、この条約に署名した。

千九百五十七年二月九日にワシントンで、ひとしく正
文である英語、日本語及びロシア語により本書を作成した。

В УДОСТОВЕРЕНИЕ ВЫШЕУКАЗАННОГО нижеподписавшиеся, будучи должным образом уполномоченными своими соответствующими Правительствами, подписали настоящую Конвенцию.

СОВЕРШЕНО в г. Вашингтоне девятого дня февраля 1957 года на английском, русском и японском языках, при условии, что все тексты имеют одинаковую силу.

FOR THE GOVERNMENT OF CANADA:
カナダ政府のために
ОТ ИМЕНИ ПРАВИТЕЛЬСТВА КАНАДЫ:

A. D. P. HEENEY
G. R. CLARK

FOR THE GOVERNMENT OF JAPAN:
日本国政府のために
ОТ ИМЕНИ ПРАВИТЕЛЬСТВА ЯПОНИИ:

Masayuki TANI

FOR THE GOVERNMENT OF THE UNION OF SOVIET SOCIALIST REPUBLICS:
ソヴィエト社会主義共和国連邦政府のために
ОТ ИМЕНИ ПРАВИТЕЛЬСТВА СОЮЗА СОВЕТСКИХ СОЦИАЛИСТИЧЕСКИХ РЕСПУБЛИК:

G. ZARUBIN

FOR THE GOVERNMENT OF THE UNITED STATES OF AMERICA:
アメリカ合衆国政府のために
ОТ ИМЕНИ ПРАВИТЕЛЬСТВА СОЕДИНЕННЫХ ШТАТОВ АМЕРИКИ:

Wm. C. HERRINGTON
Arnie J. SUOMELA

5 カナダは、毎年五百頭から七百五十頭までの間の頭数のおつとせいを調査目的のため東太平洋の海上で捕獲するものとする。

6 日本国は、西太平洋の海上で次の頭数のおつとせいを捕獲するものとする。

(a) 海上調査が行われる一年目及び二年目の各年において二千七百五十頭から三千二百五十頭までの間の頭数

(b) 海上調査が行われる残りの四年の各年において千四百頭から千六百頭までの間の頭数

7 ソヴェット社会主義共和国連邦は、西太平洋の海上で次の頭数のおつとせいを捕獲するものとする。

(a) 海上調査が行われる一年目及び二年目の各年において七百五十頭から千二百五十頭までの間の頭数

(b) 海上調査が行われる残りの四年の各年において四百頭から六百頭までの間の頭数

[JAPANESE TEXT — TEXTE JAPONAIS]

附表

- 1 アメリカ合衆国は、最初の四年の各年においてブリピロフ群島上のおつとせいの黒色乳幼獣五万頭に標識を附するものとする。
- 2 ソヴィエト社会主義共和国連邦は、最初の四年の各年においてコマンダー群島上のおつとせいの黒色乳幼獣の二十五パーセント及びロベン島上のおつとせいの黒色乳幼獣の二十五パーセントに標識を附するものとする。
- 3 おつとせいの海上獵獲が第四条3の規定に基き一年以上の年数の間停止された場合には、停止の年数に相応する年数の間前記の率で引き続きおつとせいの黒色乳幼獣に標識を附するものとする。
- 4 アメリカ合衆国は、毎年千二百五十頭から千七百五十頭までの間の頭数のおつとせいを調査目的のため東太平洋の海上で捕獲するものとする。

[RUSSIAN TEXT — TEXTE RUSSE]

ТАБЛИЦА

1. Соединенные Штаты Америки будут метить каждый год в течение первых четырех лет 50.000 черных детеньшей на Прибыловых островах;

2. Союз Советских Социалистических Республик будет метить каждый год в течение первых четырех лет 25% черных детеньшей на Командорских островах и 25% черных детеньшей на Тюленьем острове;

3. В случае, если морская добыча котиков будет приостановлена на один год или дольше, согласно пункту 3 Статьи IV, мечение черных детеньшей будет продолжаться согласно упомянутым нормам в течение соответствующего числа лет;

4. Соединенные Штаты Америки будут добывать каждый год в море для целей исследований в восточной части Тихого океана от 1.250 до 1.750 котиков;

5. Канада будет добывать каждый год в море для целей исследований в восточной части Тихого океана от 500 до 750 котиков;

6. Япония будет добывать в море в западной части Тихого океана:

(a) ежегодно в первом и втором году морских научных исследований от 2.750 до 3.250 котиков; и

(b) ежегодно в течение остальных четырех лет морских научных исследований между 1.400 и 1.600 котиков;

7. Союз Советских Социалистических Республик будет добывать в море в западной части Тихого океана:

(a) ежегодно в первом и втором году морских научных исследований между 750 и 1.250 котиков;

(b) ежегодно в течение остальных четырех лет морских научных исследований между 400 и 600 котиков.
